

アフターコロナの 生活に向けて思うこと



安原工業団地協同組合女性部

部長 東山 敦子

令和5年となり、新型コロナウイルスが全世界に蔓延してから4年目に入りました。

ウイルスの変異やワクチン接種で徐々に行動制限も緩和され、この春には第五類、インフルエンザと同じ様な扱いとなる予定です。

会報「りくつなあ〜」の紙面も、この2、3年は組合、青年部、女性部の活動もほぼ中止、総会も紙面決議などで、書く記事の内容が少なくて困りましたが、リモート機能の併用や、感染対策に注意しながらの講演や活動再開で紙面も充実しそうです。

企業でもリモートワークやZoom、Teams等を利用しての会議、小中学校では1人1台パソコンやタブレット端末が貸与され、欠席や健康確認の連絡も電話ではなくwebでとITツール使用が当たり前となってきました。

行動制限や不自由の中で開発された仕組みにより、以前より移動時間の短縮や情報の共有がし易くなったことも、人間の工夫と進化だと感じます。

コロナ禍で制限や打撃を受けた業種もようやく回復に向けて動き出そうとする中、1年前に起きたロシアのウクライナ侵攻に関連するエネルギー問題、原油や電力料金の高騰、円安により企業活動だけではなく家庭の生活にも経済的打撃を受けている方が多いのではないのでしょうか。

また最近の新聞紙面を賑わす広域強盗事件です。オレオレ詐欺から急激に強盗へと犯罪が凶悪化へシフトしており、海外の戦争だけでなく身近にも不条理な暴力の脅威を感じます。

そして2月6日に発生したシリア・トルコ地震は発生1週間を待たず東日本大震災の津波の死者数を超えました。被害の拡大が気懸りです。同時に最近の珠洲が震源の地震の多さも非常に気になります。

また、ウイルスといえばコロナだけではなくサイバー攻撃も多く、企業の安全対策の強化も急激に問われております。

安原工業団地といえば当初は住まいしながらの10人以下の異業種が集う、珍しい形態の工業団地でしたが、最近は団地の半分が第四次・五次造成の広い規模の企業となりつつあります。

何もかも今までになく急速に変化している世の中で、少子高齢化も含み、様々な価値観、企業形態も変化してきています。今後の在り方に加え、この大変動の世の中、地域の防犯防災活動、そして安全面の強化の取り組みの必要を感じます。

慌ただしい日々ですが、これまでも様々な困難に対応してきたように、今後も皆で知恵や意見を出し合い協力し、苦難を乗り越えていける安原工業団地協同組合でありたいです。是非一緒に頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 34

令和5年3月1日発行

2023.3
第34号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903

令和5年新年会

令和5年1月5日(木)、安原工業団地組合と町会の合同新年会が、ホテル日航金沢にて、59名の参加で開催されました。

開会に先立ち、北陸岳水(がくすい)会の尾内岳祥(おうち・がくしょう)様による吟、渋川(しぶかわ)流の森令月(もり・れいげつ)様による舞、で構成する「祝賀の詞(しゅくがのし)」が披露されました。

米澤卓也理事長と笠井正博町会長から年頭の挨拶の後、来賓の方々の紹介があり、村山卓金沢市長、下沢佳充石川県議会議員より開会の祝辞をいただきました。

続いて塚脇孝司安原地区町会連合会長による乾杯のご発声で宴に移りました。

終始、和やかな雰囲気です。宴の時間は過ぎ、中村俊彦次期町会長の中締めでお開きとなりました。組合、町会の皆様にはコロナに負けずに今年も1年頑張りました。



企業経営動向に関するアンケート調査報告 ～景気は緩やかに持ち直している～

毎年恒例の組合員全社を対象とした「経営動向に関するアンケート調査」の結果を集計しました。

1月の政府月例経済報告では「一部に弱さが見られるものの、総じてみれば改善している」とし、ウィズコロナの下で景気は緩やかに持ち直していると判断しています。

本年度のアンケート調査には、組合員179社のうち、99社の回答があり、回収率は55.3%となりました。

前年度調査と比較して「売上高」増加が41%(前年度35%)に、「採算性」好転が17%(前年度14%)など当工業団地でも緩やかな回復基調にあることが示されています。

その中で、「販売価格」上昇が48%(前年度22%)に、「仕入価格」は87%(前年度72%)と上昇基調が続く、物価高騰の影響が続いている状況となっています。

組合員皆様にご協力いただいたことに感謝するとともに、貴重なご意見を今後の参考として組合活動を進めていきたいと思っております。

組合事務局員 異動

事務局員の異動が相次ぎました。

会館担当事務局職員として、中田晴菜さんが退職され、横山光葉さんが11月21日付けで採用となりました。

組合担当事務局職員として、山口美枝子さんが退職され、出越昌子さんが1月21日付けで採用となりました。

退職のご挨拶



山口美枝子

この度、一身上の都合によって1月20日を持ちまして退職することとなりました。

本来であれば直接お会いしてご挨拶させていただくべきところを、「りくつなあ〜」の紙面を借りてのご挨拶となりました。

18年という長い年月勤めさせて頂き、前任者不在のスタートの上、早速どか雪や、新年会、2月には組合の10周年、理事長の退任、一年目は大変なスタートになりましたが、皆様に支えてもらいながら、乗り越えることが出来ました。

近年では仕事が自分に合っていて皆様にも可愛がっていただき、やりがいを持って務めさせて頂いていました。皆様のおかげで、自分自身成長でき仕事を続けることができたことが財産になっており、感謝申し上げます。

今後の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げ、退職のご挨拶と致します。

本当にありがとうございました。

令和4年度 視察研修旅行

本年度の金沢市工業団地連絡協議会合同の視察研修旅行は、11月18日(金)～19日(土)に当組合6名、総勢20名が参加し実施されました。

最初に名古屋市の「ポートメッセなごや」で開催されている国内最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2022」を訪問し、様々な業種・業態の800社に及ぶ出展を見学しました。

2日目は織機の発明に一生を捧げた豊田佐吉が大正時代に創設した試験工場を保存・活用した「トヨタ産業技術記念館」を見学しました。

最後に一行は愛知県では自動車に次ぐ主要産業である航空機をテーマとした「あいち航空ミュージアム」を見学し、帰路につきました。



令和4年度 安原工業団地協同組合主催第43回ソフトボール大会

日時：令和4年9月11日(日) 場所：安原小学校グラウンド



令和4年9月11日(日)、安原小学校グラウンドにおいて、3年ぶりとなる安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛の第43回ソフトボール大会が開催されました。

当日は4チーム(班チーム1、青年部チーム1、企業チーム2)のトーナメントで行われ、今年度は3位決定戦まで

行われました。9月といえども猛暑の中、感染対策しながらも白熱した試合が繰り広げられました。

決勝では若松梱包運輸倉庫(株)が延長の末、サヨナラ勝ちとなり、班選抜チームを制し大変盛り上がりしました。

成績は下記の通りです。

優勝	若松梱包運輸倉庫(株)
準優勝	班選抜チーム
3位	青年部チーム

選手の方々及び青年部の皆様、暑い中お疲れ様でした。

第12回 合同ゴルフ大会

令和4年9月19日(月・祝)、組合・町会合同ゴルフ大会がゴルフクラブツインフィールズ ゴールドコースにて開催されました。

コロナの影響で前年大会が中止となり、2年ぶりの開催となりました。

33名が参加し、(株)ツカサ 出島勝洋さんが優勝しました。



数週間前の集中豪雨で甚大な被害に見舞われた小松地方ですが、この日は天候に恵まれ、参加者は絶好のコンディションの下でプレーを楽しみました。

文化講演会 ～和食とチーズ～

当組合の文化講演会が、令和4年11月21日(月)午後6時30分から金沢市異業種研修会館において、組合員の他に安原地区の各種団体の方々を加え58名の参加で開催されました。

講師にチーズソムリエの為広薫 チーズ王国金沢店店長を招き、「チーズのある食卓 和食とチーズ」をテーマに講演いただきました。

講演会では参加者に5種のチーズが提供され、それぞれの製法やツマミとして相応しいワインの種類の説明などがありました。

参加者はチーズを賞味しながら、山羊のミルクがまろやかなチーズに最も適している等の話題に興味をそそられました。

青年部 活動報告

9月11日(日)

「第43回ソフトボール大会」

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第43回ソフトボール大会が行われました。コロナ禍による厳しい状況の中、若松梱包運輸倉庫(株)、(株)ツカサ、班選抜、青年部の4チームが参加しました。優勝は若松梱包運輸倉庫(株)となり、皆様久しぶりのソフトボール大会に大いに汗を流し楽しむことができました。

9月19日(月・祝)

「第12回安原工業団地組合・町会合同ゴルフ大会」

ゴルフクラブ・ツインフィールズにおいてゴルフ大会が開催され運営のお手伝いをさせていただきました。9組33名が参加し、(株)ツカサの出島勝洋さんが優勝しました。

10月1日(出)

「第8回 若者交流会」

ホテル金沢トップラウンジラズベリーにて、「若者交流会」を男性16名・女性2名、合計18名で開催しました。

コロナ禍がまだ収まっていない中での開催だったので、いくつかのハードルは有りましたが、多くの方が参加し大成功だったと思われれます。自己紹介のあとゲームなどで大変盛り上がりを見せ、皆様久方ぶりの楽しい交流を過ごせたかと思えます。

10月14日(金)～16日(日)

「福岡視察旅行」

福岡の観光地や施設などを見学し、「ふくや明太子博物館 博多の食と文化の博物館ハクハク」などは、博多明太子の歴史はもちろん博多の街の発展の歴史も学び大変勉強になりました。

天気にも恵まれ、交流の輪を広げる為に福岡フェザントントリークラブでゴルフをし、交流を深めることができました。(7名参加)

11月26日(土)

「青年部忘年会」

「本格炭火焼き鳥 水炊き鍋 金沢とり丸」にて青年部11名が参加し忘年会を開催しました。横田部長の挨拶に続き金子幹事の乾杯にて会を進め、コロナ禍での厳しい状況でも部員間の交流を深め、今後なお一層事業に参加してもらえ青年部活動にしていこうと、堅い結束を図りました。

2月24日(金)

「研修会」

金沢市異業種研修会館にて、石川県労働委員会会長、弁護士、高木 利定氏を迎え、「働くときの基礎知識～職場のパワハラで悩まないために～」と題した講演を行いました。

これをもって今年度は無事終了となりますが、日頃からの組合皆様のご理解、ご協力のお陰と感謝しております。コロナ禍からの回復が見えてきた中で、来年度もコロナ対策を徹底し、可能な事業は試行錯誤し実施していきたいと考えています。

来年度もよろしくお願いたします。

女性部 活動報告

11月18日(金)

【中央会女性部活動(訪問事業)】

能登リゾートエリア増穂浦にて富来町商業近代化協同組合アスク女性部の取り組み発表と、意見交換会が行われました。

4名が参加しました。少子高齢化、地域差の中での異業種店舗で協力している取り組みを聞くのは深く考えさせられるものがありました。この組合をまとめている、てらおか風車さんの牛にこだわりつづけるお話を聞きながらステーキのランチを美味しくありがたくいただきました。



11月19日(土)

【花いっぱい！飾花推進活動】

幹線道路のプランターに葉ボタンの植え替えをしました。今年は雪が多く大変ですが、春先に黄色い花が元気に咲いてくれるのが楽しみです。

12月8日(木)

【会員企業にシクラメンを】

毎年恒例になっております、会員企業に色鮮やかなシクラメンを配布しました。クリスマス気分を盛り上げるのに一役かってくれたら幸いです。

2月17日(金)

【第2回研修会】

金沢市異業種研修会館にて、石川県産業政策課専門員 榎 宗一郎氏を講師に迎え、「石川の食文化」をテーマに講演していただきました。11名が参加し、その後で大衆割烹 喜乃屋にて懇親会を開催しました。さっそく、石川の食文化を堪能できました。

3月2日(木)

【中央会女性部研修会】

ホテル日航金沢にて女性経営者並びに女性職員能力開発事業第2回全体研修会に参加。Wajiya 代表 輪島満貴子氏を講師に迎え、「わじま家の個育て～みんなしあわせ～」をテーマに講演会が開催されます。

まだまだコロナウイルス感染は終息しませんが、感染防止に気を付けながら活動していきたいと思っております。来年度もよろしくお願いたします。

あしがき

11月のワールドカップでの日本代表の活躍に寝不足になりながら観戦していたとよく聞きました。ドイツ戦の勝利後に安原工業団地内を通学路にしている小学生から「ブラボー!!!!」(長友選手の言葉)と叫んで登校していたのを見て久しぶりに日本が明るくなったように感じました。子供たちと同様に皆さんの職場でも朝の会話が弾んだのではないのでしょうか。(H)

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 岩上 伸人、羽野 芳康、笠井 恵美子、
田中 泰、東山 敦子、横田 義尾、
押田 幹夫、出越 昌子